

## 全国大学生生活協同組合連合会 第69回通常総会へのメッセージ

全国大学生生活協同組合連合会第69回通常総会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

貴連合におかれましては、昭和34年の設立以来、長きにわたり、協同互助の精神に基づき、会員の大学生協に対し、物品の供給や研修会の開催、旅行の企画などの様々な支援に取り組むことにより、学生、院生及び教職員の皆様の生活の改善を図り、豊かな学園生活を実現されるとともに、学生が持つ豊かな発想、行動力、未来に心を抱く強い思いを活かした平和活動、防災・減災活動や環境活動、そして、国際交流活動等、幅広い活動を通じて社会貢献を続けられていることに深く敬意を表します。

さらに、日々の活動においては、「つながる元気、ときめきキャンパス。組合員との対話を大切に、みんなでつくる大学生協に」を活動テーマとして掲げ、社会情勢の大きな変化や物価高騰等の深刻な影響を受ける学生、組合員に対し、低価格で栄養価の高い食事を提供することによる健康的、経済的な生活支援、また、学業に集中できる環境づくりを進める等、組合員に寄り添った取組をされていることに対し、心より感謝申し上げます。

現在、厚生労働省においては、地域の多様な主体が互いに支え合いながら、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会の実現」に向けた取組を進めております。

貴連合会が進める協同互助の輪を広げる活動は、人口減少、少子高齢化の一層の進行や、家族のつながり、地縁の希薄化等が進む社会においては、これまで以上に重要性を増し、地域共生社会の実現を後押しする大きな力となるものであることから、引き続き、各会員生協と連携を図り、大学生協の価値を高めるとともに、組合員の願いを実現し、学生の学業継続と健康で安全な暮らしを支え続けることにより、組合員に身近で必要とされる存在であり続けることを大いに期待しております。

最後に、本年は、国連が定めた国際協同組合年であり、協同組合の振興を図る国会決議がなされ、多くの協同組合において活動の機運を高める取組が進められましたが、これらを踏まえ、今後も生協の取組がより一層発展するとともに、貴連合会の益々のご活躍と、関係者の皆様のご健勝を心より祈念いたします。

令和7年12月20日

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

消費生活協同組合業務室長 日野 徹